

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公開番号】特開2017-205609(P2017-205609A)

【公開日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2017-165484(P2017-165484)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

図柄変動にて所定の表示態様が現れると遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と

、表示演出が行われる表示手段と、

音を可聴出力する音出力手段と、

操作によって検出可能とされる検出手段と、

前記図柄変動の実行期間中、前記表示手段における表示演出の進展に応じて前記音出力手段によって音を可聴出力させる音制御手段と、

前記表示手段における表示演出が所定タイミングになると、所定の演出受付期間を発生させる受付期間発生手段と

を備え、

前記所定の演出受付期間は、非抑制態様で可聴出力されている特定BGMが抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態になってから発生可能とされるものであり、

さらに、

前記特定BGMが抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態においては、該特定BGMとは異なる所定演出音が、非抑制態様で可聴出力可能とされており、

さらに、

前記所定の演出受付期間中、前記特定BGMが抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態にあり、且つ前記所定演出音が非抑制態様で可聴出力されている状態で前記検出手段による検出があると、該検出に基づいて、前記所定演出音の可聴出力を終了させて、前記図柄変動にて所定の表示態様が現れる期待度を示唆する特別演出音を非抑制態様で可聴出力させうるようになっており、

さらに、

前記所定の演出受付期間内のいずれのタイミングで前記検出手段による検出があったかに応じて、前記特別演出音の可聴出力が終了されるタイミングが異なる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、このような遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、こうした実情に鑑みてなされたものであり、遊技興趣の低下が抑制されうる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：図柄変動にて所定の表示態様が現れると遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と、

表示演出が行われる表示手段と、

音を可聴出力する音出力手段と、

操作によって検出可能とされる検出手段と、

前記図柄変動の実行期間中、前記表示手段における表示演出の進展に応じて前記音出力手段によって音を可聴出力させる音制御手段と、

前記表示手段における表示演出が所定タイミングになると、所定の演出受付期間を発生させる受付期間発生手段と

を備え、

前記所定の演出受付期間は、非抑制態様で可聴出力されている特定BGMが抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態になってから発生可能とされるものであり、

さらに、

前記特定BGMが抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態においては、該特定BGMとは異なる所定演出音が、非抑制態様で可聴出力可能とされており、

さらに、

前記所定の演出受付期間中、前記特定BGMが抑制態様で可聴出力される状態または可聴出力されない状態にあり、且つ前記所定演出音が非抑制態様で可聴出力されている状態で前記検出手段による検出があると、該検出に基づいて、前記所定演出音の可聴出力を終了させて、前記図柄変動にて所定の表示態様が現れる期待度を示唆する特別演出音を非抑制態様で可聴出力させうるようになっており、

さらに、

前記所定の演出受付期間内のいずれのタイミングで前記検出手段による検出があったかに応じて、前記特別演出音の可聴出力が終了されるタイミングが異なる

ことを特徴とする遊技機。